

2018 春季生活闘争 第 1 回中央闘争委員会 確認事項

I. 最近の特徴的な動き

1. 至近の経済情勢について

政府が 12 月 8 日発表した 2017 年 7-9 月期の四半期別 GDP 速報(2 次速報値)によれば、実質 GDP 成長率が前期比 0.6%増、年率換算で 2.5%増となり、1 次速報の前期比 0.3%・年率 1.4%から上方修正された。内訳をみると、個人消費は横ばいであったが、設備投資が 0.2%から 1.1%に上方修正されており、公共投資および内需も上方修正されている。

また日銀が 12 月 15 日発表した 12 月の短観は、全規模全産業の業況判断指数(DI)が過去 26 年間で最も高いプラス 16 となり、企業業績の改善が続いていることを示している。世界経済の好調が影響した大企業製造業はプラス 25 で、5 四半期連続の改善である。中小企業全産業でも前回から 2 ポイント改善のプラス 11 で、1991 年 8 月以来の高さとなった。業種別では製造業が好調な一方、天候や人手不足の影響を受けたサービス関連業種では悪化が目立った。加えて、全規模全産業の雇用人員判断DIはマイナス 31 で 1992 年 2 月以来の低水準、中小企業全産業はマイナス 34 となり、人手不足の深刻度は増すばかりである。

アメリカ連邦準備制度理事会(FRB)は 12 月 13 日、雇用の堅調な伸びや物価上昇を受けて、政策金利を 0.25%引き上げて誘導目標水準を 1.25~1.50%とすることを決め、14 日付けで実施した。

今後とも、国内外の政治・経済動向を注視していく必要がある。

2. 政策・制度課題をめぐる足下の情勢について

政府は、年内を目途に 2018 年度予算案および税制改正大綱を閣議決定する予定である。年明けに召集される第 196 通常国会では、これらに加え、労働基準法等改正法案を含む「働き方改革」関連法案が提出される予定であり、すべての働く者の立場にたった政策の実行に向けて、真摯な議論が求められる。

連合は、働く者の思いを共有する多くの仲間とともに、構成組織・地方連合会とも十分に意思合わせを行いながら、政策・制度実現に向けた取り組みを力強く進めていく。

II. 当面の闘い方

1. 構成組織における 2018 闘争体制の確立

構成組織は、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」による継続した所得の向上を通じて「経済の自律的成長」「社会の持続性」の実現をはかる。とりわけ「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」と「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の流れを継続・定着・前進させる。加えて「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現を同時に推し進めるという 2018 春季生活闘争方針の主旨に沿って、それぞれ闘争方針と闘争体制を

確立していく。その際には、それぞれの産業ごとに個別銘柄の「最低到達水準」「到達目標水準」を明示し、社会的な共有に努める。

2. 共闘連絡会議の開催

部門別共闘連絡会議は参加構成組織の要求内容を把握した上で適宜会議を開催し、より主体的な闘争を進めるために、非正規労働者も含めた賃金引上げと働き方の見直し、および中小組合への支援状況などについての情報交換と情報開示を進めていく。単組の要求策定に資するよう、「中核組合」の確認および各回答ゾーン（7. 参照）で回答を引き出す組合の設定を早期（1月中）に行った上で、2月初旬に「中核組合の賃金カーブ維持分・賃金水準」および「代表銘柄・中堅銘柄」を開示できるよう準備を進める（詳細別途周知）。

3. 「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組み

2018 春季生活闘争において実現をめざす重要な目標である様々な格差（企業規模間、雇用形態間、男女間など）の是正をめざし、実効性ある取り組みを行うための準備を進めていく。構成組織においては、「最低到達水準」を確保する点検を行う。地方連合会は、連合リビングウェイジに基づく「最低到達水準」および地域ミニマム運動に基づく「地域の職種別賃金相場」を広く開示し、地場の賃金相場の社会的波及を進める。

4. 職場点検活動の実施

単組は、「2018 春季生活闘争 職場点検チェックリスト」（11月27日付け@RENGO第15-00164号掲載済み）も用いながら職場点検活動を行い、法律・労働協約の遵守や安全問題への対応を徹底させ、公正なワークルールの確立をめざす。とりわけ、2018 春季生活闘争方針を踏まえ、36協定の点検や年次有給休暇の取得促進などによる長時間労働是正、無期転換ルールの周知や転換促進および雇用形態間の不合理な労働条件の点検・改善等非正規労働者のワークルール、男女平等の促進などに取り組むこととする。

5. 社会対話の促進

連合本部は経団連とのトップ懇談会等、経済団体との協議を通じて労働側の主張を明確にしていくとともに、「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」第3弾と連動し広く社会に向けてアピールする。

地方連合会は、開かれた春季生活闘争の実現に向けて地域のあらゆる関係者との連携をはかるべく、地域活性化や人財確保など地域の課題をテーマとした「地域フォーラム」を開催するべく、実施に向けた諸調整を促進する。

6. 組織拡大の取り組み

構成組織は春季生活闘争の中で、同じ職場で働くパート・有期契約などの非正規労働者の組織化と、子会社・関連会社、取引先企業などにおける集团的労使関係の構築に取り組む。

7. 2月末までの要求提出と回答引き出しに向けた交渉配置

構成組織・単組は2月末までに要求を提出し、共闘連絡会議第1回全体代表者

